

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 12 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	複数手法活用による事務所ビル省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0018
排出削減事業者名	株式会社久米電装
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 (その他関連事業者名：ヤシマ工業株式会社)
事業実施場所	株式会社久米電装 (沖縄県那覇市久米二丁目 1 6 番 2 5 号)
事業の概要	株式会社久米電装の事務所ビルにおける空調機の高効率化、及び照明安定器のインバータ化という複数の方法によってビル全体の省エネを図るものである。 ① 1 階、4 階の空調機及び 2 階、3 階の空冷チラーを高効率パッケージエアコンに更新しエネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減する。 ② 1 階～4 階の蛍光灯用安定器をインバータ安定器に更新しエネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減する。
排出削減量の計画	19tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 76 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新 方法論番号 006 照明設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2012 年 1 月 1 日 ～ 2012 年 12 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	31 tCO ₂ (2012年1月1日～2012年12月31日)
--------------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認済み排出削減事業計画に従い、高効率空調設備及び高効率照明説明（蛍光灯安定器）が導入されていること、及び 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績、設備の稼働時間記録等により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、工事終了確認書や関係者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、BOSS センター及び空調設備運転時間記録等による空調設備電力使用量、空調設備稼働時間及び照明設備点灯時間の実測が実施されていることを確認した。 2) 空調設備エネルギー使用量の計測値、空調設備稼働時間及び照明設備の点灯時間の記録・保存については、報告期間中に渡り、記録責任者の管理の下、日次データ及び月次データが記録・保存されており、本データが正確に集計されていることを、事業者への質問、記録書類と集計データの突合等により確認した。 3) 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り

	<p>であることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 19.0k1 であることを確認した。